

第3回ユースオリンピック

10月6日から18日までブエノスアイレス(アルゼンチン)で開催される第3回ユースオリンピック競技大会に、JOCエリートアカデミーから4名が出場します。この4名以外に、2017年度修了生の平野さん(卓球)も出場。また、吉村コーチ(レスリング)、毛塚コーチ(ライフル射撃)が各競技の監督として帯同します。

- レスリング 鏡 優翔 (帝京高2年) ※日本選手団旗手
尾崎 野乃香 (帝京高1年)
- 卓球 張本 智和 (稲付中3年) ※日本選手団主将
- ライフル射撃 高木 葵 (成立学園高1年)

※日本代表選手団は、選手91名(男子48名、女子43名)、監督・コーチ等44名の合計135名で編成されています。

【張本くんのコメント】

「今回、ユース五輪の主将に選んでいただけてとても嬉しく思います。主将として、生活面や態度、発言により自覚を持ち、全選手の見本になれるように頑張ります。そして何よりプレーで選手たちの背中を引っ張るように声を出し、日本チームの闘志あふれる気持ちの代表として試合をしたいです。目標は2つの金メダルと、日本チーム史上最高の主将です。競技と生活の両立、JOCエリートアカデミーで培ってきたことを、アルゼンチン・ブエノスアイレスで100%発揮してきます。」

【鏡さんのコメント】

「ユースオリンピックは4年に1度で尚且つ年齢が当てはまっていないと出場できない、人生に1度訪れるかもわからない大会です。そんな大会に日本代表選手として行かせてもらうことになり、更に旗手を務めさせていただくことになりました。こんな貴重な経験をさせていただけることは本当に嬉しいことですが、同時に緊張が込み上げてきます。でも、代表としてしっかり国旗を持ち、胸を張って歩いてきたいと思います。競技でも1番輝くメダルを持ち帰れるよう頑張ります。」



【主将の張本君(左)と旗手を務める鏡さん(右)】

ユースオリンピックは、15歳から18歳までを対象とした国際総合競技大会で、夏季・冬季に分かれ、4年毎に開催。夏季は今大会で3回目の開催で、アカデミー生の成績は次のとおりです。

回	年	開催地	出場者	競技	種目	順位
第1回	2010	シンガポール	宮原 優	レスリング	女子46kg級	優勝
			谷岡あゆか	卓球	女子シングルス	ベスト8
					混合団体	優勝
第2回	2014	南京	向田 真優	レスリング	女子52kg級	優勝
			村松 雄斗	卓球	男子シングルス	2位
					混合団体	2位
					女子シングルス	4位
			加藤 美優	卓球	混合団体	2位
					女子サークル個人	4位
			江村 美咲	フェンシング	大陸別団体	優勝

【水泳/飛込】

日本選手権



【優勝した安田さん
(シンクロナイズド3m)】



【準優勝の遠藤君
(1m飛板飛込)】

第94回日本選手権水泳競技大会飛込競技が9月21日から23日まで、辰巳国際水泳場(東京)で開催されました。

安田さんは、シンクロナイズド3m飛板で金戸さん(セントラル/日出中)とペアを組み、2位に20点差をつけて優勝を果たしました。それにより、来年3月に日本で開催されるワールドシリーズの代表に選拔されました。高飛込では、体調を考えて一部難易度を落としての挑戦となりましたが、シニアの大会で初めて300点を突破し、ナショナルチーム入りを果たすことができました。

遠藤君は、1m飛板飛込で自己ベストを出して2位となり、日本選手権では初めての表彰台となりました。3m飛板飛込でも、高難度の演技種目(407C後踏切前宙返り3回半)に挑戦し、自己ベストに迫る演技ができました。これは、試合終盤まで冷静に競技に臨めたという、精神面での成長の結果です。

【安田舞さんのコメント】

「今回の大会は、ワールドシリーズ出場がかかっていたことと、自分の失敗で負けることも多かったこともあり、優勝できてひと安心

しました。そして、時間が経つにつれて、優勝した実感が湧き、嬉しさがこみ上げてきました」

【教育プログラム】

キャリア教育

新学期を迎え、中学3年生と高校3年生の進路開拓に向けた活動が始まりました。これを受けて、JOCエリートアカデミーでは、教育プログラムの一環で、中学3年生と高校3年生を対象とした「キャリア教育」を実施しています。これまでの活動を振り返りながら、自分の将来を考えることや、それに向けて必要な面接や小論文等の指導を通じてスキルアップを図ると共にJOCエリートアカデミーへの帰属を高めることを目的として毎年行なっているものです。

内容は次のとおりです。

1. 全体指導(ガイダンス)
 - ・研修の目的等を説明。
 - ・進路希望等を確認、スケジュールを検討。
 - ・入学試験や就職採用試験に必要な書類等を確認。
2. 個人指導
 - ・個人の進路やスケジュールに合わせ、個別の面接、小論文、書類作成等の指導を行う。

【教育プログラム】

SNS研修

9月19日にソーシャルメディアがもたらす影響やリスク、効果的な活用法などについての理解を深めることを目的としてSNS研修を実施しました。

この研修は例年4月に実施しています。今回は競技の関係で、その研修を受けることができなかった5名を対象として実施しました。

【JOC選手強化本部インテグリティ教育ディレクター

上田大介氏のコメント】

～変化が激しい時代だからこそ～

普段、何気なく手に取るスマートフォンの中にある可能性について、特にソーシャルメディア(SNS)の世界は変化が激しく、アスリートにとっては良い面も悪い面も存在します。

日本を代表するアスリートとしてソーシャルメディアとどう向き合うか、“自分で考え、自分で判断する”トレーニングは、競技と同じく繰り返し行うことが必要です。



【熱心にSNS研修に臨むアカデミー生】

【園田稚さんのコメント】

「SNS研修を受けて、SNSのプラス面とマイナス面を改めて理解することができました。SNSは自分の伝えたい情報を世界中の人に発信することができます。しかし、間違った情報を発信してしまうとその情報も世界中へ発信されてしまいます。そして、これからはSNSを利用することが増えてくると思います。だからこの研修で教えて頂いたSNSの使い方やSNSのマイナス面を考えて、SNSを利用していこうと思いました。」

【教育プログラム】

栄養教室

先日、今年度初めてとなる「栄養教室」をSAKURA Diningで開催しました。

栄養教室は、「栄養についての意識を高めること」「食事(調理)についての興味関心を高めること」を目的として、JOCエリートアカデミー修了後の自炊生活も視野に入れて毎年行っているものです。今年度は、「チャーハン・野菜炒め・中華スープ」に挑戦しました。

参加者からは「朝少し時間がない時などに、チャーハンなどつくれそうだなと思った」「炒飯をパラパラにしたかったら少し奥に押しながらほぐしていくといいことがわかった」などの感想がありました。



【調理実習を楽しむアカデミー生】

公益財団法人 日本オリンピック委員会

JOCエリートアカデミー事業



〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1

味の素ナショナルトレーニングセンター

TEL:03(5963)0355/FAX:03(5963)0356

JOCエリートアカデミーだよりは以下のHPでもご覧いただけます。

<http://www.joc.or.jp/training/ntc/eliteacademy>